幼児教育に役立つ動画を配信中!







©Nobilabo 2021 無断転載や内容を改ざんしての配布、転売などはご遠慮ください。





きのえだには むすうの ろうそくが ともり、きらきら かがやいています。 「なんて きれいなの!」 おんなのこは りょうてを のばし、さわろうとしました。 q その しゅんかん、マッチのひは きえて しまいました。



そのとたん、ひは きえてしまい、ストーブも きえて しまいました。 「もう いっぽんだけ…。」 おんなのこは マッチを すりました。





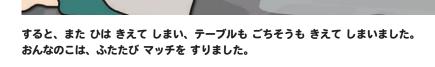
きょうは、いちねんの おわりのひ、おおみそか です。 つめたい ゆきの ふるなか、ひとりの ちいさな おんなのこが マッチが たくさん はいった かごを もって あるいて いました。



「かわいそうに。マッチで あたたまろうと したんだね。」 あつまってきた ひとびとが くちぐちに いいました。 でも、おんなのこが さいごに みた うつくしいものを、だれも しることは できませんでした。



マッチの あかりの なかに、こんどは、テーブルが あらわれました。 テーブルには、ふかふかの パンや おいしそうな ケーキ、こんがり やけた しちめんちょうがあります。



7 おんなのこは おもわず てを のばしました。



「まあ、すてき。なんて あたたかいのかしら…。」 おんなのこは うっとり しました。 すると、あかりの なかに、おおきな ストーブが あらわれました。 おんなのこは うれしくり もっと ストーブに ちかづこうと しました。



「どうしよう…。」 おんなのこは こごえたてを あたためながら つぶやきました。 「マッチが うれなかったら、また おとうさんに たたかれてしまう…。」



すると、ほしが ひとつが すう…と、ながれて いきました。 「あっ、ながれぼし!」 おんなのこは そらを みあげました。 「きっと だれかが てんごくに いくのね。」



「おばあさん!」 おんなのこは さけびました。 「おばあさん! きえないで!」 おんなのこは むちゅうで マッチのひを つけました。

10



おんなのこは、なくなった おばあさんの ことばを おもいだしました。 「ほしが ひとつ ながれると、ひとつの いのちが かみさまの ところに いくんだよ。」 おんなのこは、とても とても おばあさんに あいたくなりました。

11



「そうだ。この マッチに ひを つけたら、きっと あたたかい でしょう。」 うりものの マッチを つかうと、おとうさんに しかられて しまいます。 でも、あまりの さむさに、もう がまん できません。 おんなのこは、おもいきって マッチを すりました。



おばあさんは りょうてを ひろげて、おんなのこを やさしく だきしめました。「おばあさん、わたしを はなさないで!」「だいじょうぶだよ。これからは ずーっと いっしょだよ。」

ふたりは まぶしい ひかりの なかを、うえへ うえへと のぼって いきました。



「マッチは いりませんか。」 「マッチは いかがですか。」 おんなのこは マッチを うって あるいていたのです。 とおりを あるく ひとびとは、みんな いそがしそうで マッチは いっぽんも うれません。